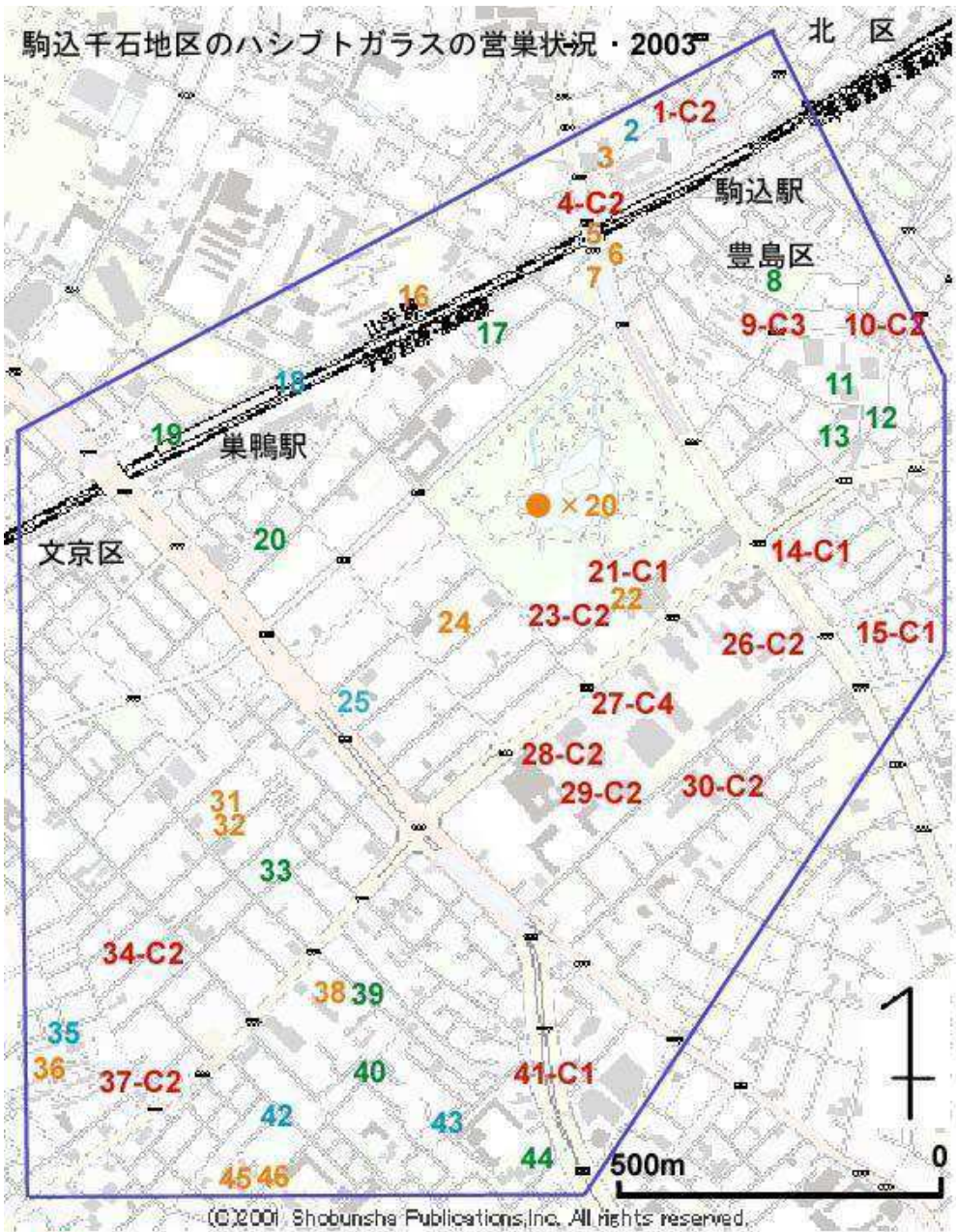


# ハシブトガラスの卵は青磁のよう

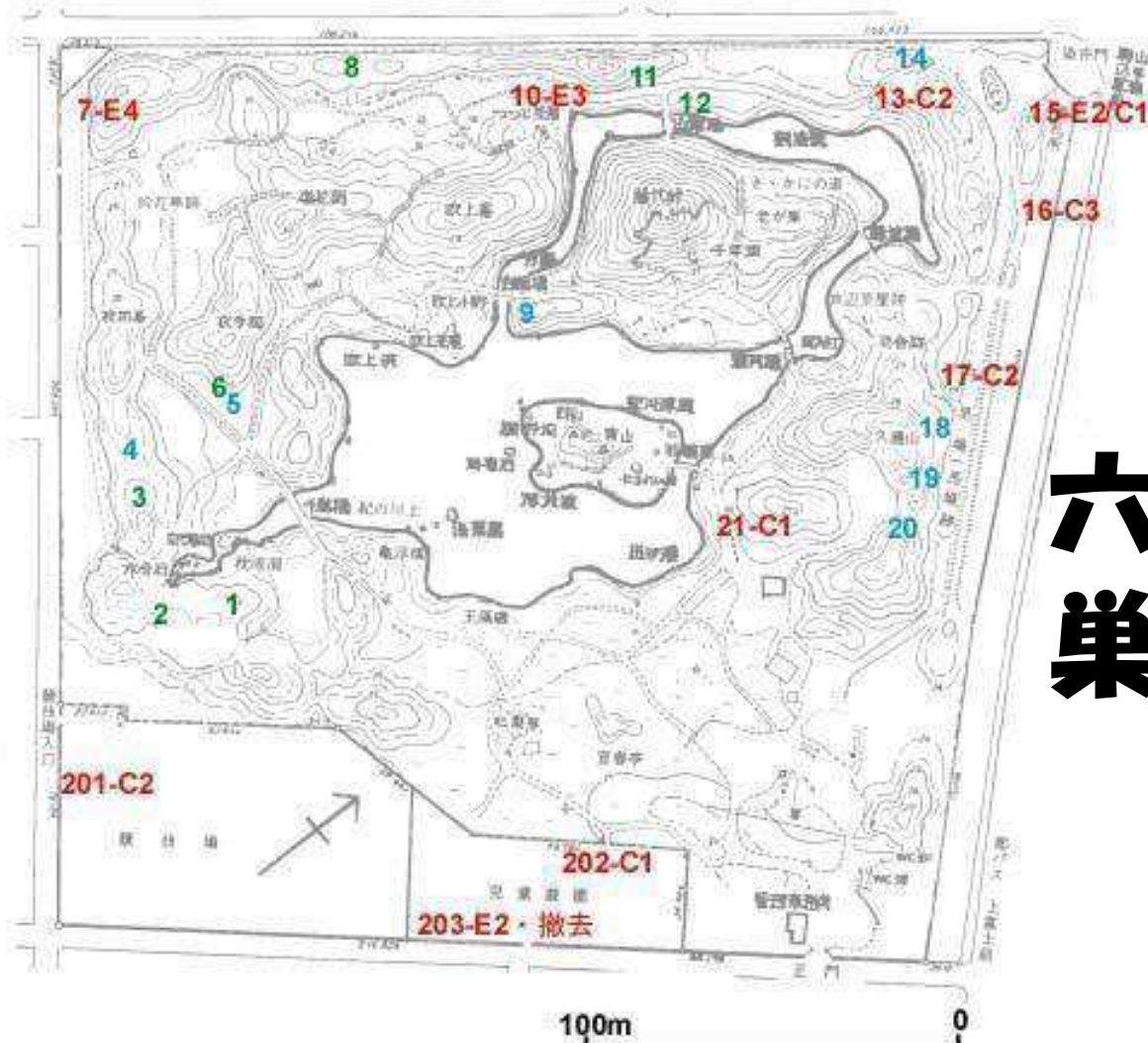




# 駒込と千石地における カラスの巣の位置の例

- 繁殖成功したもの。Cの数字は雛の数をあらわす
- 抱卵を確認したのちに放棄されたもの
- 巣落としされたもの
- 試作巣、または不明



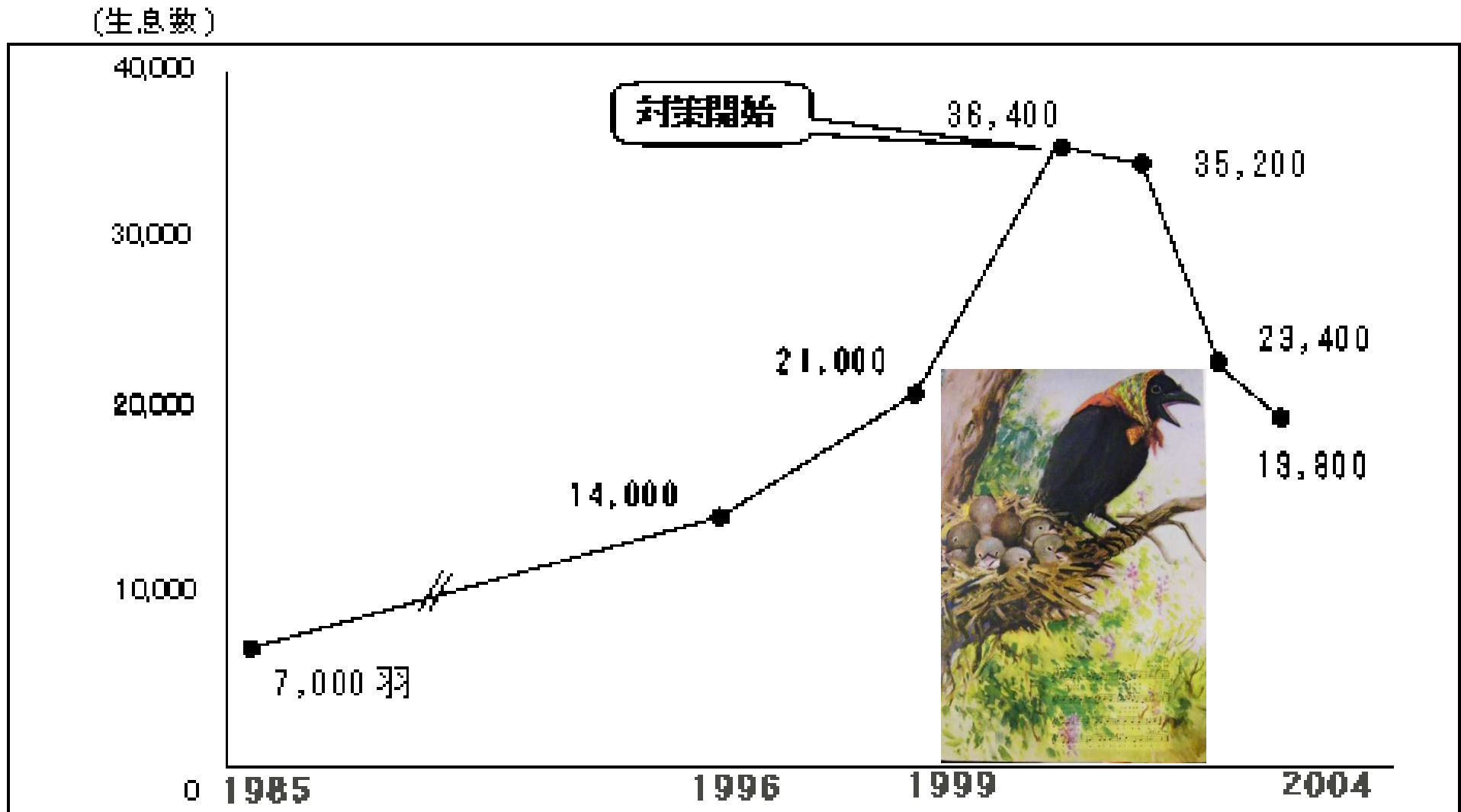


# 六義園における 巣の位置の例

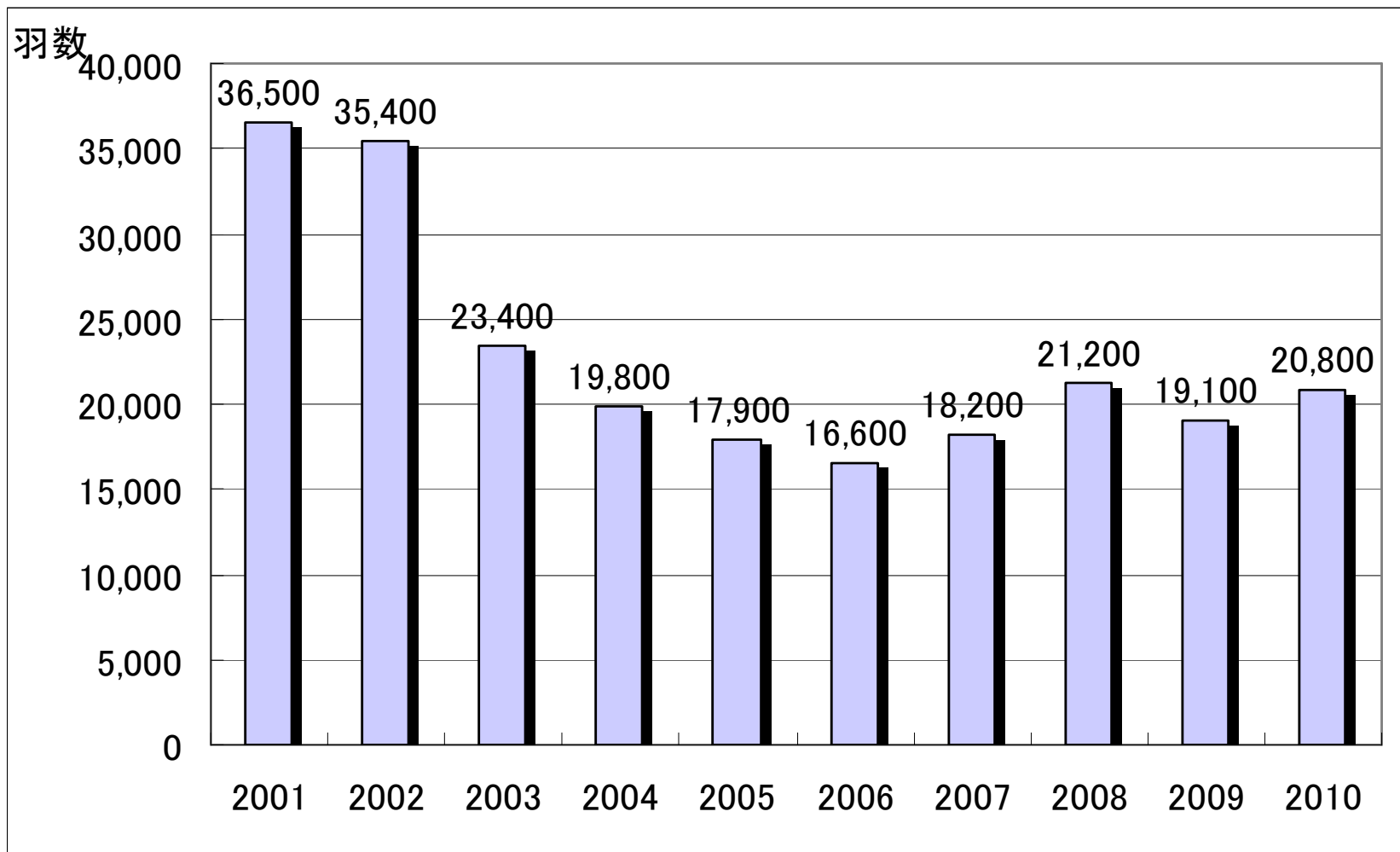
- 繁殖が進行していたもの。Eは卵、Cは雛の数をあらわす
- 抱卵を確認したのちに放棄されたもの
- 試作巣、または不明
- 10番台は六義園内の巣(2003.05.23・撤去作業)
- 100番台は作り直しされた巣
- 200番台は六義園外の巣



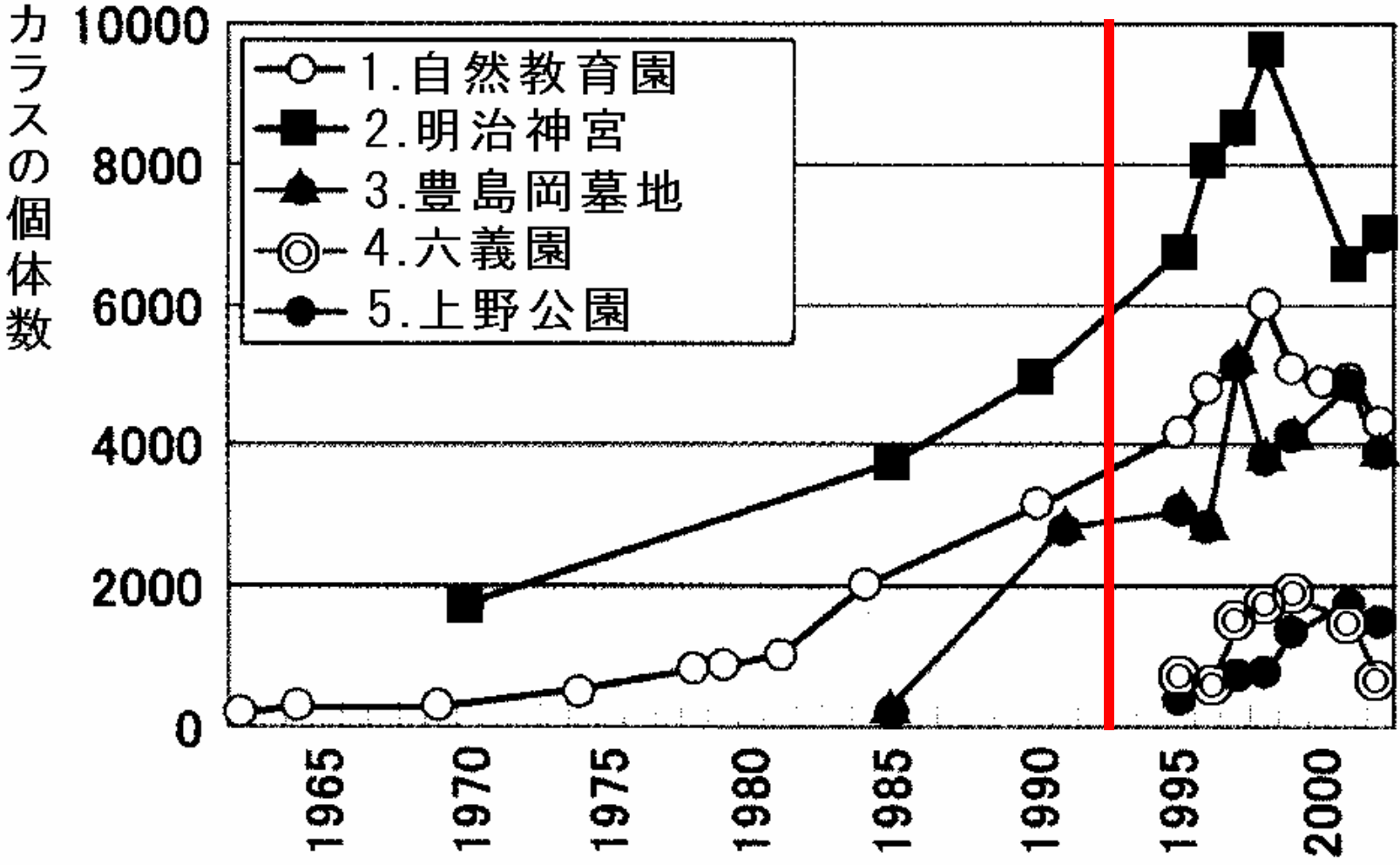
# 東京のカラスの生息数の推移



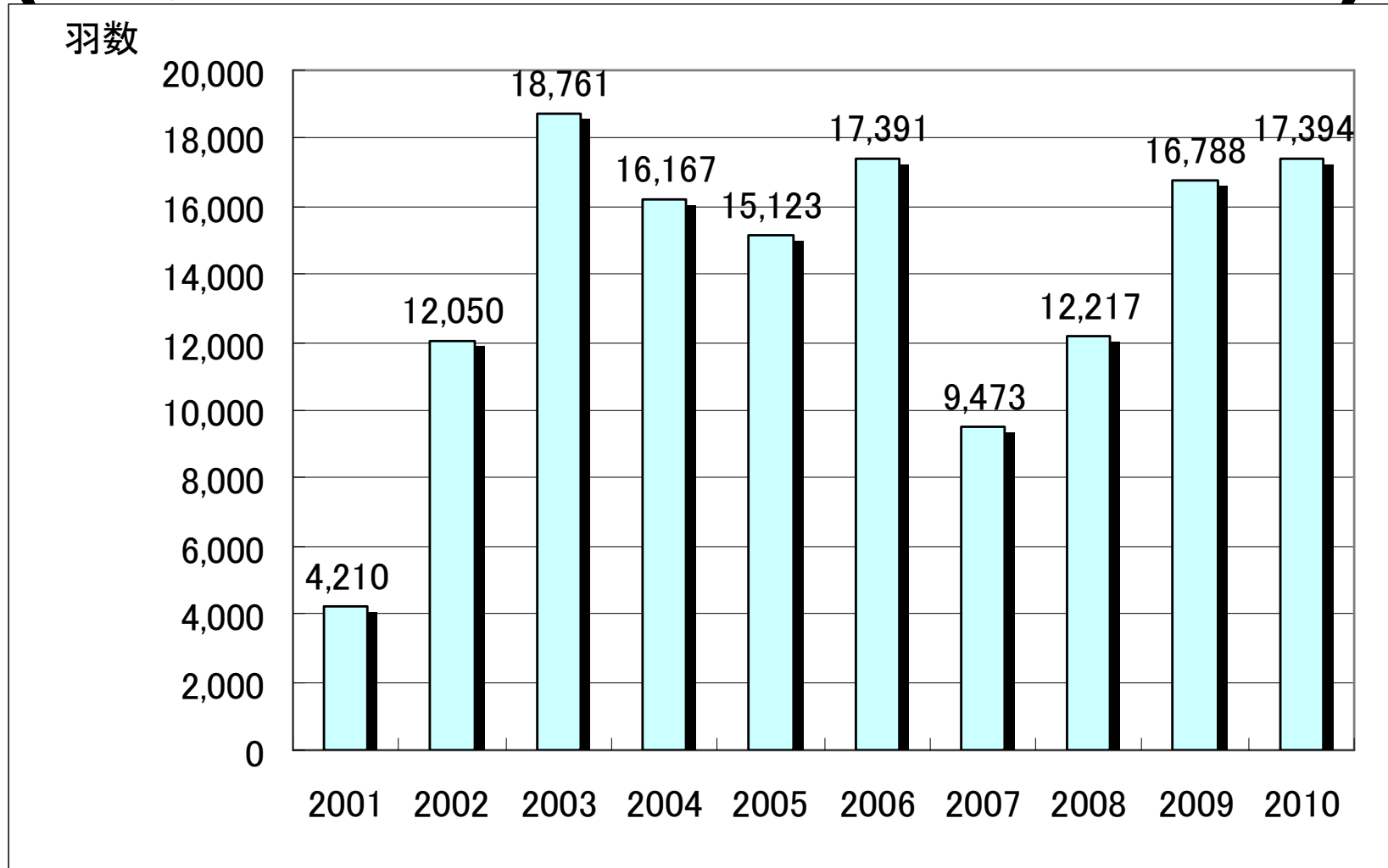
# 東京都はカラスが半分になったと 発表している



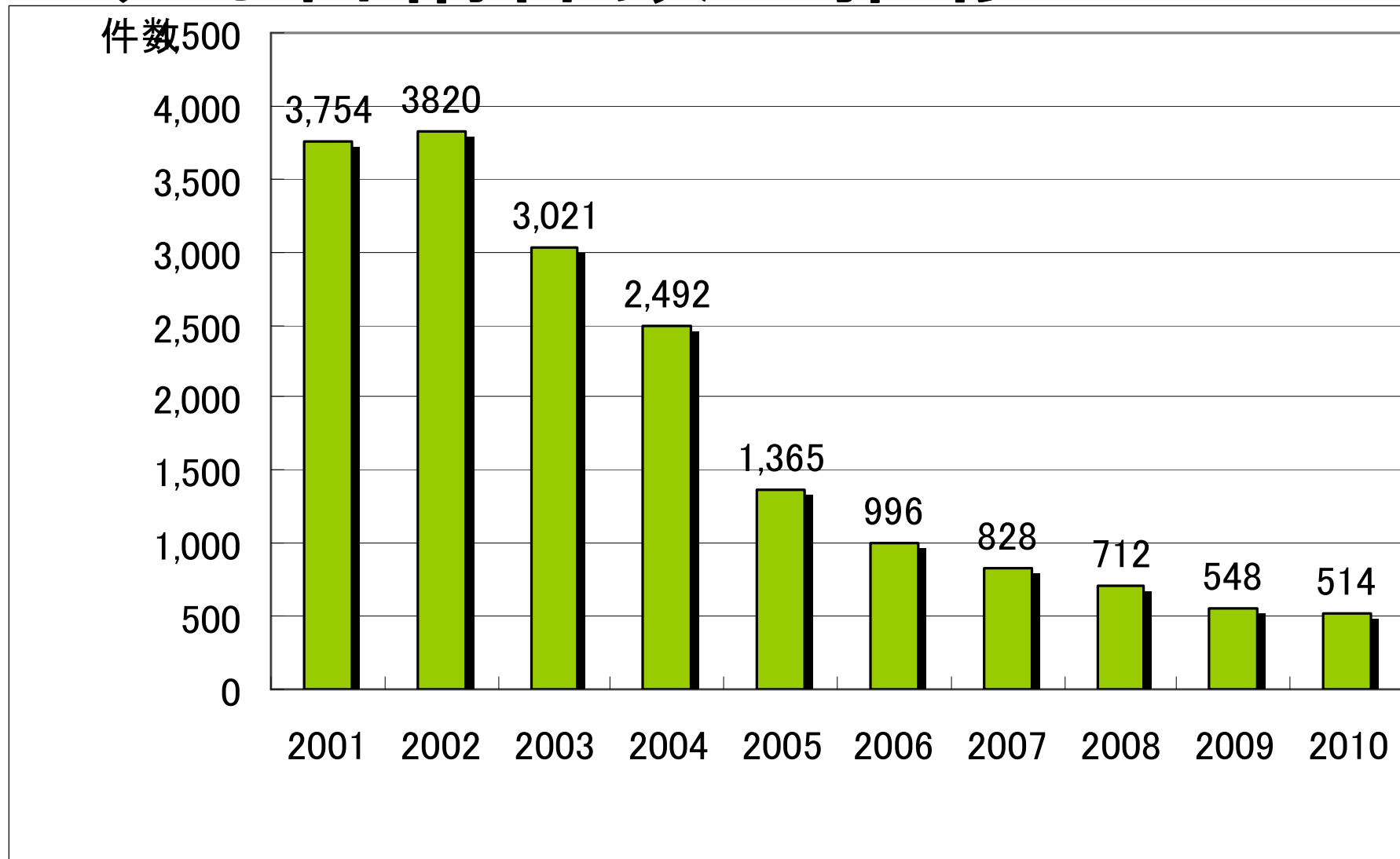
# 把握できているネグラの数の変化



# 東京都のカラス捕獲数の推移 (捕獲檻のみ、巣落としては含まず)

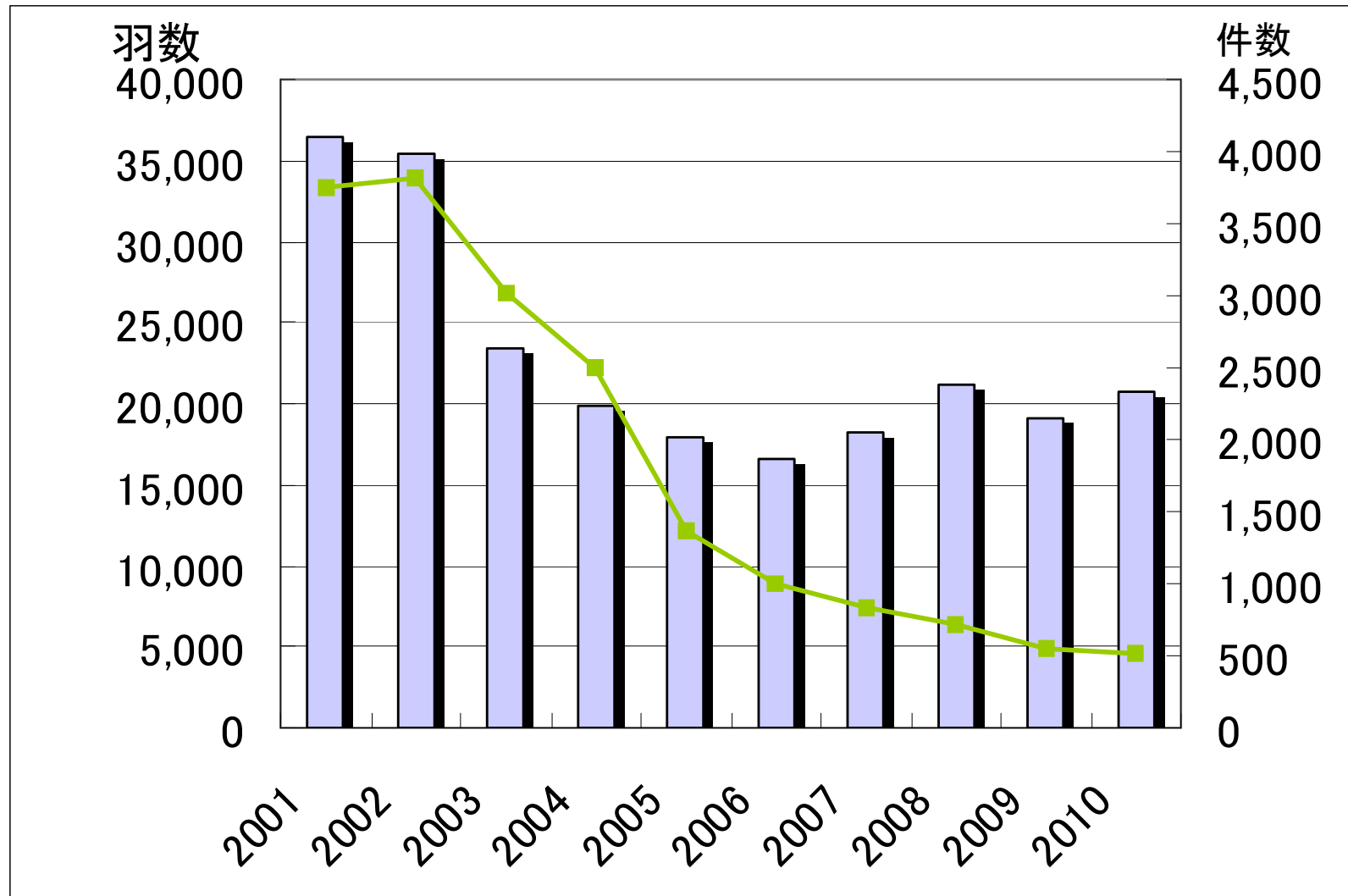


# 東京都に寄せられるカラスに関する苦情件数の推移

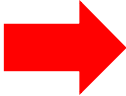






# 東京都のカラスのネグラ入り数 と苦情件数との関係



# カラスの数と苦情件数と比例しない

- 最初の4年間は、カラスが減るとともに苦情件数も減った  比例している。
- しかし、最近の4年間はカラスが増加傾向にあるものの苦情件数は減っている  比例していない。
- 苦情はカラスの数とは違う要因の影響が考えられる  マスコミの取り上げ件数か。

# カラスが減らない理由

- 捕まるのは、若鳥が多い
- そのため、成鳥は毎年、雛を産出している
- 天敵の若鳥カラスがいないので、より多く雛を孵している可能性もある
- 今繁殖している成鳥が寿命を迎えてはじめて減少する
- ゴミという資源がある限り、周辺のカラスが侵入してきている可能性もある

# カラスから学んだこと・1

## 憶測と思いこみの自然観

- カラスの嘴は黄色？
- キツネはずる賢い、  
タヌキはお人好し
- カッコウはずるい
- オシドリは鴛鴦夫婦か
- ハイエナは悪者・ライオンは百獣の王
- コウテイペンギンは凄い



➡ 人間の価値観で自然や野生生物の習性を判断していないか

# カラスから学んだこと・2

## 野生動物とどう向き合うか

- 野生動物はペットではない
  - ヒトの思うとおりににはならない
  - 思いこみと憶測での判断は危険
- ➡ 客観的な視点に立って施策を考える
  - ➡ 科学的な検証と生態学に則った対策を講じるべき
  - ➡ 途中で止められない
  - ➡ 時間と金がかかる覚悟



# カラスから学んだこと・3

## 野生動物の付き合い方

- 
- 相手の生活に関わらない
- しかし、たえず横目で相手を見ておく
- 緊張感ある関係を保つ

